

事務事業名	難病患者等居宅介護支援事業		所属部局	保健福祉部	単位番号	5020				
	□ 実施計画事業		所属課室	福祉課	課長名	戸栗 香				
			所属担当	障害者生活支援担当	担当者名	勝俣 利江				
基本政策	基本計画体系	IV 快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
政策		17 社会福祉の充実		01	一般	03	01	02	060	02
施策		30 障害者福祉の充実	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 15 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		法令根拠	アルプス市難病患者等居宅介護事業運営要綱・日常生活用具給付事業実施要綱・短期入所事業運営要綱						
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 在宅で療養中の難病患者等が利用できるサービス等に要する費用の一部を負担する。 ①短期入所事業 巨摩共立病院、身延山病院に委託 難病患者等の短期入所費用②居宅介護事業 民間事業者等に委託 ホームヘルパーの派遣及び家事援助や身体の介護及び相談助言などサービスの提供③日常生活用具給付事業 用具の販売又は製作者等に用具の給付を委託し、難病患者等に給付券を交付			事業費の主な内訳 (25年度 決算見込)						
				項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)			
				その他委託料	0					
			社会福祉費扶助	0						
						計 0				

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	25年度活動実績 ①短期入所事業 0人 ②居宅介護事業 0人 ③日常生活用具給付事業 0人 26年度活動予定 事業廃止(障害福祉サービスへ移行)	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	名称 単位 ア 申請件数 件 イ 給付決定件数 件 ウ
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	在宅で療養が可能な程度に病状が安定している医師によって判断される者であり、厚生労働科学研究難治性疾患克服研究事業の対象疾患患者及び関節リウマチ患者(介護保険法、老人福祉法等の対象とならない者)または②a.厚生労働科学研究難治性疾患克服研究事業の対象疾患患者及び関節リウマチ患者のうち介護保険法対象者、老人福祉法対象者、障害者自立支援法対象者のいづれかに該当する者。山梨県選任性音職障害者認定事業実施要綱	⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	名称 単位 ア 難病患者等総数 人 イ ウ
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	・在宅難病患者等が居宅で生活し易くなる。 ・家事援助や介護が受け易くなる。 ・在宅難病患者等の家族の介護疲れ等が軽減される。	⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称 単位 ア サービスを利用した人数/難病患者等総数 % イ ウ
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	・在宅難病患者等とその家族の生活環境が安定する。 ・在宅難病患者等の家族が社会的行事等に参加することが出来る。	⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称 単位 ア 難病患者に対するサービスに満足していると答えた人 人 イ

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	最終年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	
事業費	内訳	国庫支出金	千円							
		県支出金	千円	136	0	0	0	0	0	
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	137	0	0	0	0	0	
		事業費計(A)	千円	273	0	0	0	0	0	0
人件費	コスト	正規職員従事人数	人	1	0	0	0	0	0	
		延べ業務時間	時間	60	0	0	0	0	0	
		人件費計(B)	千円	273	0	0	0	0	0	0
		(A)+(B)	千円	546	0	0	0	0	0	0
活動指標	指標	ア	件	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		イ	件	2.0	0.0	0.0				
		ウ								
対象指標	指標	ア	人							
		イ								
		ウ								
成果指標	指標	ア	%							
		イ								
		ウ								
上位成果指標	指標	ア	人							
		イ								

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	難病特別対策推進実施要綱(平成10年4月9日厚生省保健医療局長通知)により、難病患者とその家族の居宅療養生活を支援するために市町村が実施。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	平成22年度から在宅人工呼吸器装着患者等支援事業(実施主体山梨県・気管切開又は人工呼吸器を装着患者の一時的な入院費用)が実施された。平成25年4月1日より障害者総合支援法において障害福祉サービス等意見等は特になし。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	短期入所委託先が1施設(巨摩共立病院)であったため、病院の空き病床がない場合は、難病患者等が短期入所希望日に入所できないケースもあった。平成22年に身延山病院と契約した。
③ H 25年度に実施した改革改善の内容	

事務事業名	難病患者等居宅介護支援事業	所属部	保健福祉部	所属課	福祉課
-------	---------------	-----	-------	-----	-----

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 難病患者とその家族の生活の質の向上と、社会参加の促進が図れている。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 市町村が行う事業として位置づけられていて、短期入所事業と居宅介護事業については受け入れ可能な施設や事業者委託しているが、類似事業が出たため現行制度を廃止する。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 類似事業が出たため現行制度を廃止する。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることができるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) 自立支援法に基づく在宅サービス事業 <input checked="" type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 障害者総合支援法の施行により、類似事業が出たため現行制度を廃止する。 <input type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 <input type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 在宅難病患者等で他の法律の対象とならない者が利用するため。 同左
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 年間60時間程度であり、削減余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 事業の特殊性から公平である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	平成25年4月の施工により、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する法律において、障害者及び障害児の範囲において難病患者が加わったことにより、障害者総合支援法に基づく利用が可能になったため、類似事業の現行制度(市障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律施行細則に規定するサービス)を廃止する。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果 平成25年度																					
	成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果																					